

たまゆらの生の幻影

おれは夜の闇をかきむしりかきむしり
夜ごと合掌する

森の葉裏の闇に猿神を葬り

あふれてくる羊水の海の中に溺死する
きらきらきらきらきちがい星の

遠白む夜のはての聖黄金獅子

森の蛇の銀鱗の闇の中で合掌するおれを
くらいつくす聖黄金獅子

蛾のように広げる淡紅色の森影に崩れ
落ちる猿神たちの

ざらざらの苦い眼の色を知っているか
果てしなく広がる爬虫類の森の

凍死体のようなひんやりとした冷たい
感触を知っているか

卵殻の森の中でただひたすらに野苺を
かきいだくきちがいの裸形のものたちの

かなしい眼の色を知っているか
真砂まさのようにむなしくこぼれ落ちる

黄金の時の中に溺死する猿王

無垢の海鳥は溺死する猿王の背にとまり
おし寄せる漆黒の闇の中に埋もれていく

黄金獅子の住む午後の樹海へ行こう
